

## 日本気象学会関西支部2017年度理事会次第

日 時：2017年6月19日（月）10時00分～12時00分  
場 所：大阪管区气象台16階大会議室

理事会（10：00～12：00）司会（吉野）

1. 第32期支部長挨拶 10：00－10：10（土井）
2. 報告事項  
第32期役員の補充 10：10－10：15（吉野）
3. 審議事項  
議案1 2016年度事業報告 10：15－10：20（関野）  
議案2 2016年度収支決算 10：20－10：30（山田）  
議案3 2016年度会計監査報告 10：30－10：35（久保）  
議案4 2017年度事業計画案  
・総会・役員会 10：35－10：35（書面）  
・年会・例会・講演会 10：35－10：45（関野）  
・日本気象学会関西支部第39回夏季大学 10：45－10：55（石岡）  
・教育活動の拡充 10：55－11：05（石岡）  
・気象サイエンスカフェの開催 11：05－11：10（難波）  
議案5 2017年度予算案審議 11：05－11：10（山田）  
議案6 支部内規の改正 11：15－11：20（山田）
4. 意見交換  
例会等の支部活動の活性化について 11：20－12：00（向川）

## 2017年度理事会資料

### 第32期役員の補充について（報告）

日本気象学会関西支部長は、2017年4月期の人事異動に伴い、次のとおり第32期の理事の推薦と幹事の指名を行った。また、2017年6月期の会計監査役の人事異動に伴い、本日付で第32期の会計監査の推薦を行う。

	(旧役員)	(新役員)	(新役員の所属)
常任理事	春海 孝	吉野 昌史	大阪管区气象台
常任理事	佐藤 貴洋	岸本 賢司	大阪管区气象台
地区理事 (近畿)	多田 英夫	横田 寛伸	大阪管区气象台
地区理事 (中国)	三登 慎一	大友 猛	広島地方气象台
地区理事 (四国)	山田 眞吾	若山 晶彦	高松地方气象台
幹事	藤原 義寿	風本 圭佑	大阪管区气象台
会計監査	久保 裕之	田口 晶彦	日本気象協会関西支社

### (参考) 第32期役員について

日本気象学会関西支部第32期の役員（任期：2017年6月～2018年6月）は、本理事会での選任を経て次のとおりとなる。

	(第32期役員)	(新役員の所属)
常任理事	土井 恵治	大阪管区气象台
常任理事	向川 均	京都大学
常任理事	石岡 圭一	京都大学
常任理事	大澤 輝夫	神戸大学
常任理事	難波 良彰	日本気象予報士会関西支部
常任理事	吉野 昌史	大阪管区气象台
常任理事	岸本 賢司	大阪管区气象台
地区理事 (近畿)	井上 進	日本気象協会関西支社
地区理事 (近畿)	横田 寛伸	大阪管区气象台
地区理事 (中国)	岩田 徹	岡山大学
地区理事 (中国)	大友 猛	広島地方气象台
地区理事 (四国)	佐々 浩司	高知大学
地区理事 (四国)	若山 晶彦	高松地方气象台
会計監査	田口 晶彦	日本気象協会関西支社
幹事	井口 敬雄	京都大学
幹事	関野 裕功	大阪管区气象台
幹事	山田 友幸	大阪管区气象台
幹事	風本 圭佑	大阪管区气象台

## 2016年度事業報告（議案1）

1. 総会 2016年6月25日（土）（大阪市）
2. 役員会
  - ・理事会：1回（2016年6月25日）
  - ・常任理事会：2016年5月16日、2016年10月31日、2017年3月28日
3. 年会・例会
  - ・年会 2016年6月25日（大阪市）、総会後の開催を企画したが、発表応募が無く開催中止
  - ・例会 近畿地区：2016年12月21日（大阪市、大阪管区气象台近畿地区気象研究会との共催）  
中国地区：2016年11月19日（岡山市）  
四国地区：2016年12月9～10日（高知市、大阪管区气象台四国地区気象研究会と共催）
4. 講演会 実施する場合は年会・例会に併せて開催
  - ・2016年11月19日「グリーンランド氷床表面の暗色化に関する科研費の概要」  
(岡山大学理学部地球科学科 青木 輝夫教授)
  - ・2016年12月9～10日「2016年台風第5～7、9～11号の発生に関わるモンスーン渦の特徴と成因」  
(琉球大学理学部物質地球科学科 山田 広幸准教授)
5. 日本気象学会関西支部第38回夏季大学
  - ・日時：2016年8月20日（土） 11：00～16：35
  - ・場所：京都テルサ東館3階大会議室（京都市南区東九条下殿田町70番地 京都府民総合交流プラザ内）
  - ・受講者：123名
  - ・テーマ：豪雨災害の実態に迫る
    - 1 「豪雨をもたらす雲のしくみ」  
荒木 健太郎氏（気象庁気象研究所予報研究部第三研究室 研究官）
    - 2 「電波で見て知る 豪雨と雷」  
大石 哲氏（神戸大学都市安全研究センター 教授・センター長）
    - 3 「京都東山の山津波」  
諏訪 浩氏（東京大学空間情報科学研究センター/立命館大学歴史都市防災研究所 客員研究員）
6. 教育活動の拡充
  - ・夏季大学に合わせて、大学で気象学を学びたい高校生や気象の知識を活かした就職を希望する方を対象にした「気象関係合同進路説明会」を実施（参加総数は11名）。
  - ・夏季大学に高校生の参加費を無料にする促進策を実施（4名の応募があり、内2名が参加）。
7. 気象サイエンスカフェの開催
  - ・「第10回気象サイエンスカフェ in 関西」：2017年1月28日（土） 14時30分～16時00分
  - ・日本気象予報士会関西支部と共催（大阪市・英國屋 心齋橋本店）参加者 23名
  - ・天候と健康 ～健康管理に使える気象のお話～ 高橋 宙氏（大阪管区气象台地球環境・海洋課長）
8. 関西支部ニュースの発行と通知
  - ・第276号～第277号のWEB掲示、発行通知はEメール。

#### 9. 関西支部規約類の改正

- 2017 年度以降の支部総会の廃止および支部総会廃止後の円滑な支部活動のため、日本気象学会関西支部規約及び選挙細則の規約類の改正案を提案し、支部会員の 3 分の 2 以上の賛成
- 4 月 21 日に開催された日本気象学会理事会において、当該規約類の改正について審議いただき、改正案とおりの承認。

平成 28 年（2016 年）度 収支決算（議案 2）

1.一般会計

単位:円

	予算額	決算案
I 収入の部		
前年度繰越金	1,057,475	1,057,475
事業活動収入		
本部交付金	1,026,000	1,026,000
支部一律分(350,000 円)		
会員数比例分(1,200 円×480 名=576,000 円)		
夏季大学等補助金(100,000 円)		
事業収入		
夏季大学参加費(1,000 円×100 名)	100,000	141,275
雑収入		
預金利子	200	14
(バックナンバー収入)		10,500
		6,270
事業活動収入計(1)	2,183,675	2,241,534

	予算額	
II 支出の部		
事業活動支出		
事業費支出		
ホームページ・ML サーバー運営費	34,000	7,800
例会開催費(運営費、印刷費、旅費など)	450,000	174,265
夏季大学開催費(運営費、印刷費、旅費など)	650,000	603,574
その他事業費	0	0
管理費支出		
総会・理事会費(運営費、印刷費、旅費など)	400,000	255,582
役員選挙費	0	0
事務費(通信費、旅費、労務費など)	270,000	229,577
(PC購入費用 200,000 円を含む)		
事業活動支出計(2)	1,804,000	1,270,798
III 予備費支出		
予備費支出計(3)	379,675	0
支出合計 (2)+(3)	2,183,675	1,270,798
当期収支差額 (1)-(2)-(3)	0	970,736
次年度繰越収支差額	0	

## 2. 支部活動強化基金

単位:円

	予算額	
I 収入の部		
事業活動収入		
本部交付金		
関西支部活動強化基金	210,000	210,000
例会・年会旅費助成(120,000円)		
サイエンスカフェ(40,000円)		
気象関係合同進路説明会(50,000円)		
事業活動収入計(1)	210,000	210,000

	予算額	
II 支出の部		
事業活動支出		
事業費支出		
関西支部活動強化基金		
例会・年会旅費助成	120,000	4,370
サイエンスカフェ	40,000	8,180
気象関係合同進路説明会	50,000	35,960
事業活動支出計(2)	210,000	48,510
当期収支差額 (1)-(2)	0	161,490
次年度繰越収支差額(残金は全て本部へ返金しました。)	0	

平成28年(2016年)度 会計監査報告(議案3)

2016年度の日本気象学会関西支部の経理について、諸帳簿及び関係書類ならびに現金・預貯金通帳を厳正に監査したところ、すべて適正に処理されていることを報告します。

平成 29 年 5 月 19 日

会計監査

久保裕之 

## 2017年度事業計画（案）（議案4）

1. 総会 2017年度から支部総会を廃止する
2. 役員会
  - ・理事会：1回（2017年6月19日開催）
  - ・常任理事会：6回程度
3. 年会・例会
  - ・年会：2017年度から休止する
  - ・例会 近畿地区：1回、2017年12月（大阪市、大阪管区気象台近畿地区気象研究会との共催）  
中国地区：1回、2017年11月～2018年1月（未定、大阪管区気象台中国地区気象研究会と共催）  
四国地区：1回、2017年12月～2018年1月（未定、大阪管区気象台四国地区気象研究会と共催）
4. 講演会 実施する場合は例会に併せて開催
5. 日本気象学会関西支部第39回夏季大学
  - ・日時：2017年8月19日（土） 11：00～16：35
  - ・場所：京都テルサ
  - ・テーマ：雪 ―結晶から防災まで―
6. 教育活動の拡充
  - ・夏季大学の開催前に、高校生を対象とした「気象関係 合同進路説明会」の開催を継続実施。
  - ・夏季大学に高校生の参加費を無料にする促進策を継続実施。
  - ・各地区例会での高校生による研究発表を受け入れ。
7. 例会講演要旨集の発行
  - ・例会の開催に合わせ、電子媒体での提供を継続。
8. 気象サイエンスカフェの開催
  - ・「第11回気象サイエンスカフェ in 関西」：2017年12月～2018年2月に大阪で開催
9. 関西支部ニュースの発行と通知
  - ・第278号～第280号（3回）支部ニュースはWEB 掲示とし、発行通知はEメールにて行う。

2017年度予算案審議（議案5）

1.一般会計

単位:円

	予算額
I 収入の部	
前年度繰越金	970,736
事業活動収入	
本部交付金(510136 円留置)	511,064
支部一律分(350,000 円)	
会員数比例分(1,200 円×476 名=571,200 円)	
夏季大学等補助金(100,000 円)	
事業収入	
夏季大学参加費(1,000 円×100 名)	100,000
雑収入	
預金利子	10
事業活動収入計(1)	1,581,810

	予算額
II 支出の部	
事業活動支出	
事業費支出	
ホームページ・ML サーバー運営費	30,000
例会開催費(運営費、印刷費、旅費など)	300,000
夏季大学開催費(運営費、印刷費、旅費など)	600,000
その他事業費	0
管理費支出	
理事会費(運営費、印刷費、旅費など)	350,000
役員選挙費	0
事務費(通信費、旅費、労務費など)	70,000
事業活動支出計(2)	1,350,000
III 予備費支出	
予備費支出計(3)	231,810
支出合計 (2)+(3)	1,581,810
当期収支差額 (1)-(2)-(3)	0
次年度繰越収支差額	0

## 2. 支部活動強化基金

単位:円

	予算額
I 収入の部	
事業活動収入	
本部交付金	
関西支部活動強化基金	180,000
例会・年会旅費助成(90,000円)	
サイエンスカフェ(40,000円)	
気象関係合同進路説明会(50,000円)	
事業活動収入計(1)	180,000

	予算額
II 支出の部	
事業活動支出	
事業費支出	
関西支部活動強化基金	
例会・年会旅費助成	90,000
サイエンスカフェ	40,000
気象関係合同進路説明会	50,000
事業活動支出計(2)	180,000
当期収支差額 (1)-(2)	0
次年度繰越収支差額	0

## 支部内規の改正（議案6）

### 改正する内規

関西支部旅費支給内規

### 改正理由と改正事項

支部の行事に伴う旅費については、本部の旅費支給内規に準じて定めた関西支部旅費支給内規に基づいて支給している。

今般、本部の旅費支給内規について、内閣府監査からの指導により日当の支給を廃止したことを受け、関西支部の旅費支給内規についても、日当の支給を廃止する改正を行う。併せて、支部総会の廃止に伴い、総会に関する記述の削除等も行う。